

コムギ縞萎縮病抵抗性品種「タマイズミ R」の奨励品種採用

【要約】小麦品種「タマイズミ R」は、コムギ縞萎縮病に強く、やや短稈で、作りやすくなった改良点を除き、これまでの奨励品種「タマイズミ」の特性は全て引き継がれており、奨励品種候補とする。

農業技術センター 作物部

【連絡先】 058-239-3132

【背景・ねらい】

本県の準硬質小麦品種の作付は岐阜地域を中心に 600ha 栽培されている。近年、コムギ縞萎縮病が増加しており、その抵抗性を持たない「タマイズミ」では病害や減収が顕著に見られる状況となっている。そこで、準硬質小麦品種についてコムギ縞萎縮病抵抗性を有する品種及び系統の比較試験を行った。

【成果の内容・特徴】

- 1 小麦「タマイズミ R」は、“コムギ縞萎縮病抵抗性 $YmYm(t)$ ホモ導入 BC_2F_2 個体”を母に、“アブシシン酸代謝酵素遺伝子変異ホモ導入の BC_3F_2 個体”を父とする交配から、DNA マーカー選抜法を用いた半数体育種法によって国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究部門で育成された。
- 2 奨励品種決定調査における特性は以下のとおりである（表 1、表 2）。
 - (1) 岐阜市又丸（標高 16.1m）における出穂期は 2 日早く、成熟期は 1 日早い。
 - (2) 稈長と穂長はやや短く、穂数はやや多い。
 - (3) 千粒重は同等からやや軽く、収量も同等からやや少ない。
 - (4) タンパク質含有量は同等からやや低い。
 - (5) 育成地情報では、コムギ縞萎縮抵抗性を除いた特性は「タマイズミ」と同じである。
 - a) 播性程度は「Ⅰ～Ⅱ」である。
 - b) 穂発芽性は「やや難」。
 - c) 赤かび病には「中」であり、さび病とうどんこ病には「弱」である。
 - d) 粒質は「硬質」であり、製粉歩留、60%粉の蛋白質含量、灰分含量、アミロース含量は同等であり、醤油や中華麺に適する。

【成果の活用・留意点】

- (1) 栽培適地は、「タマイズミ」が栽培されている岐阜地域を主体とする標高 100m 以下とし、適地外での栽培には地域適応性を事前把握して導入する。
- (2) 「タマイズミ」と同じ肥培管理で栽培するとタンパク質含有率が低くなる場合があるため（成果内容 2-(4)）、以下の栽培方法を遵守してタンパク質含量の確保に努める。
 - ア 基肥には「セラコート R ブレンド（R25 日タイプと R30 日タイプの 1：1 配合）」等の 4 月以降にも肥効溶出が得られる肥料を用いる。
 - イ 倒伏などに配慮しつつ基肥窒素量を可能な限り増量する。

【具体的データ】

表1 奨励品種決定基本調査の結果(農業技術センター、岐阜市、H28～R3年産の6か年平均値)

品 種 系 統 名	播 種 期 (月日)	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/m ²)	穂 重 (kg/10a)	原 麦 収 量 (%)	収 比 率 (%)	容 積 重 (g/L)	千 粒 重 (g)	生育中の障害(0-5)					品質		蛋 白 含 量 (%)
												倒 伏 病	赤 さ び 病	う ど ん こ 病	赤 か び 病	縞 縮 病	凍 害	外 観 品 質	
対 タマイズミ	11.03	4.09	5.30	89	9.1	425	506	100	864	44.8	0	0	0	0.2	0	0.1	3.0	1	10.4
タマイズミR	11.03	4.07	5.29	83	8.9	439	491	97	857	43.9	0	0	0	0.2	0	0.1	3.2	1	9.9

表2 奨励品種決定現地調査の結果(岐阜農林事務所、H29～R3年産の5か年平均値)

品 種 系 統 名	播 種 期 (月日)	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/m ²)	穂 重 (kg/10a)	原 麦 収 量 (%)	収 比 率 (%)	容 積 重 (g/L)	千 粒 重 (g)	生育中の障害(0-5)					品質		蛋 白 含 量 (%)
												倒 伏 病	赤 さ び 病	う ど ん こ 病	赤 か び 病	縞 縮 病	凍 害	外 観 品 質	
対 タマイズミ	11.07	4.14	6.03	87	9.7	435	406	100	862	40.8	0.3	0.0	0.0	0.1	1.8	0.4	3.3	1.4	10.6
タマイズミR (R2530)	11.05	4.10	6.11	87	9.3	498	467	115	858	41.5	0.5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.6	3.7	1.6	10.8
タマイズミR (R25)	11.07	4.12	6.08	85	9.2	493	451	111	854	40.5	0.3	0.0	0.0	0.1	0.0	0.4	3.6	1.6	10.6

研究課題名：主要農作物（水稻・麦類・大豆）の奨励品種決定調査（採種管理事業・昭和28年度～）

研究担当者：小椋正大、吉田健吾（農産園芸課）、野田佳宏、吉田一昭